

市民に寄り添った積極的な政策提案ができる職員を目指して… 「地域の隠れた魅力を再発見」職員向け研修・最終回を実施 (9/11)

龍ヶ崎市では、積極的に政策提案ができる職員の育成のため、政策形成研修(全3回)を実施しており、今年度の研修が、令和7年9月11日(木)に最終回を迎えますのでお知らせします。

令和7年度は、部署の枠を超えた30代の職員12人が参加。中本正樹氏(Nakamasagas 代表、元小美玉市職員)を講師に迎え、7月・8月に2回の研修を実施しました。

“地域の隠れた魅力を再発見する”をテーマにした今回の研修では、1グループ4人のグループに分けて、政策を考えています。

なお、「地域課題に対しての」テーマではなく、「すでにある本市の魅力」をテーマにした研修は、本市の政策形成研修では初の取り組みです。

各グループでは、本市最上位計画(「龍ヶ崎市みらい創造ビジョン for2030」)を核とした、地域の課題と魅力を掘り起こすワークショップを実施し、グループごとに政策提案のテーマを決定。

さらに、住民目線で捉える政策形成手法「体験鎖(たいけんさ)設計」を習得し、市民に寄り添った政策になるよう、各テーマについて、理解や提案内容を深めました。

最終回となる第3回目では、これまでの学びや意見を集約し、政策提案書にまとめます。

今回の研修をとおり、まとめられた政策提案書は、9月下旬に研修担当課である人事行政課から市長へ提出する予定です。



▲第2回目での参加者の意見交換の様子

【第3回目研修概要】

■日時	令和7年9月11日(木) 午後1時30分から午後4時30分まで
■場所	龍ヶ崎市多世代交流センターRINK コミュニティホール A (所在地:龍ヶ崎市3543番地 龍ヶ崎市役所保健福祉棟3F)
担当課	龍ヶ崎市 総務部 人事行政課 人事グループ 担当者:高阿田・照井・細田(たかあだ・てるい・ほそだ) 連絡先:0297-60-1512(直通)